

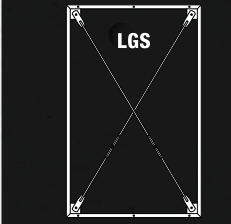


畳や障子をあしらったリビングルーム。その向こうに愛するクルマや農機のシルエットがアクセントになるモダン和風の新興地です。窓から見える景色は四季折々の田んぼ。その色合いが、プレーンな天井に反射して、内部空間のイメージにも変化をもたらします。よく考えてみると、実はすごく贅沢な庭を持った家なのです。

Theme

日本のミッドセンチュリースタイル 水田に浮かぶガレージハウス

デイトナハウスの高床式工法「スパイキーLGS」を駆使して
水田に浮かぶようなシャープなフラットハウスを考えてみました。
四季の変化を身近に感じる新しい建築のカタチです。



×
40
PANELS



2つの棟の間に自然に出来上がる、土間のようなガレージ空間。夏は風が通り抜ける涼しい場所。正月前にはここで餅つきをしたり、四季折々の行事が出来る潜在能力の高い素数な空間。ここにはビンテージのトラクターを置きたいところ。



田植え前の田んぼは、まるで水鏡のように見える趣きで、その上に浮かぶ平屋は、建物の影が水面に映りこみ何とも美しい。雨の日もまたよし。晴耕雨読の生活がありありとイメージができますね。この家では、何だか雨も好きになれそうです。



FLOOR PLAN

この建物の構成は、2つの大きなLGSの箱と、その間をつないだ土間空間からなるシンメトリーな空間です。平屋なので、梁間を3スパン飛ばした箱部分、柱の下に杭を配置するので、杭本数としても最も効率的な構成になっています。高床式は平屋かつ、住宅の場合200㎡以下(4号特例)とすることが高床式建築の条件になります。実際には構造計算をしますが、4号特例で構造計算提出義務が免除され、この画期的な工法を実現することができるのです。特に高床式工法の場合は、住居と店舗でも高床式の成立条件が変化しますので、注意が必要です。ちなみに店舗等、不特定多数の利用の場合は100㎡以下が必須条件となりますので、事前にご相談ください。

INFORMATION LDKinc.

デイトナをはじめ、カーマガジンでの長期連載、ムック本であるCAR&HOMEにて、常にクルマと住宅の関係について提案し続けてきた建築プロデュース会社LDK inc. 建築設計はもちろんのこと、建築システムの開発や商品開発も行う。

代表: 玉田 敦士
WEB: www.ldk.co.jp
TEL: 03-6228-4933

DAYTONA HOUSE OFFICIAL HP
www.daytona-house.com

梅雨前のこの時期に飛行機で日本列島を見降ろすと、田んぼに水が引き込まれた、この上なく美しい景色を望むことができます。それは、お米の国であり、アジアの国であることをつくづく実感させるものです。そこで今回は、この日本らしい明媚の中に溶け込んだデイトナハウス(DH)という趣きで、田んぼの中に浮かび上がる平屋を考えてみました。

もちろん海や山の美しさやDHのフォルムの対比も素敵なのですが、それは日本だけでなくも成立します。ごくありふれた、しかし実はありがたい風景である田んぼ。その中にDHを配置してみることで、改めて田んぼの美しさに気が付いてもらうことがこのプランのコンセプトです。軽量鉄骨で構築された、まるで現代の金閣寺の様なこのアイデアができてしまうのも、鋼管杭を地上に露出させて高床式の建築にするデイトナハウスの「スパイキーLGS工法」があるからです。LGSシステムはいわゆるモダンな建築の手法です。その起源はむしろ西洋建築。しかし骨をむき出しにして外壁を断熱素材でくるむその工法はむしろ日本古代の竪穴式住居にも通するもの。いわば古代人起源ともいえるわけです。日本の原風景にフィットするのはある意味当然なのです。デザインの基調はこの連載でもご説明した「ミッドセンチュリースタイル」。西海岸で50年代に誕生したムーブメントですが、そもそもアメリカの建築家達が、戦前の日本の木造建築に衝撃を受けて作ったもので、いわば逆輸入とも言える手法です。夏の緑から秋には黄金色に変わる稲穂をDHから望む。人為と自然の調和の象徴、田んぼの中のLGS。日本中にこんな建物が出現すれば、皆がより日本の事が好きになれると思うのです。

What's Daytona House?

デイトナハウスを構成するのは、LGSと呼ばれる軽量鉄骨のパネルで、厚さ3.2mm、幅12.5cm、厚み5cmの「Cチャンネル」と呼ばれる部材を、横幅180cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたパーツは、「ブレース」と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。「柱」と「梁」と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、デイトナハウスはこのLGS パネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。つまりこのLGS パネルを使った建物全てがデイトナハウスと言う訳です。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメージできる分かります。パウダーコーティングが施されたその鉄の素材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。

